

評価基準

教 科	体 育	学 年	6 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A 体づくり運動 体ほぐしの運動	2	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。	・心と体の関係を理解し、友達とかかわりあったりするなどの狙いに応じた活動を選んでいる。 ・さまざまな運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
A 体づくり運動 体の動きを高める運動	2	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	○体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動ができる。	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それ	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				を生かした運動を工夫している。 - グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 - 感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。	や周囲の安全に気を配っている。
B 器械運動 マット運動	5	技に挑戦したり、技を組み合わせたり、仲間と動きを合わせたりする。	- マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 - 選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 - 技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ペアやグループで動きを組み合わせる演技をつくらたりできる。 ○開脚前転（更なる発展技：易しい場での伸膝前転） ○補助倒立前転（更なる発展技：倒立前転、跳び前転） ○伸膝後転（更なる発展技：後転倒立） ○倒立ブリッジ（更なる発展	- マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 - 見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 - グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	- マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 - 互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 - 器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 - 技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 - けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			技：前方倒立回転） ○ロンダート ○補助倒立（更なる発展技：倒立）		
B 器械運動 鉄棒運動	3	• できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	• 鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 • 自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 • 選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転（更なる発展技：前方伸膝支持回転） ○片足踏み越し下り（更なる発展技：横とび越し下り） ○膝掛け上がり（更なる発展技：もも掛け上がり） ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転（更なる発展技：後方伸膝支持回転） ○後方もも掛け回転	• 鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 • 見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 • グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	• 鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 • 互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 • 器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 • 技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					を配っている。
B 器械運動 跳び箱運動	6	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び（更なる発展技：屈身跳び） ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び（更なる発展技：前方屈腕倒立回転跳び）	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
C 陸上運動 短距離走・リレー	4	・よりよい走り方を身に付けて、短距離走の日本記録に挑戦したり、みんなの力を生かす作戦を工夫して、チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。	・短距離走やリレーの行い方がわかる。・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。	・短距離走・リレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイン	・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする

評価基準

教 科	体 育	学 年	6 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				トや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
C 陸上運動 ハードル走	5	ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走って、競走したり記録に挑戦したりする。	- 第1ハードルを決めた足で踏みきって走り越すことができる。 3～5歩のリズムで調子よくインターバルを走ることができる。 - ハードルを越すときは上体を前傾させることができる。	- 自分に合ったコースを見つけることができる。 - 競走のしかたやきまりを工夫して行なうことができる。 - 自分のめあてを決め、めあてに合った練習の場を選んだり、練習を工夫したりしている。	- 自分の力に合った課題をもって進んで取り組み、競走の楽しさや目標記録に挑戦する楽しさや喜びを味わおうとする。 - 計時や記録などの役割を分担し、互いに協力して運動しようとする。 - きまりを守り、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。 - 走路や器具などの安全を確かめようとする。
C 陸上運動 走り幅跳び	4	走り幅跳びをして、記録に挑戦したり、得点競争をしたりする。	- 走り幅跳びの行い方がわかる。 7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 - 幅 30～40cm 程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 - かがみ跳びから両足で着地することができる。	- 走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 - 自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 - 走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	- 走り幅跳びに積極的に取り組んでいる。 - ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 - 用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 - 走り幅跳びの場の危険物を取り除いたり、それぞれの場の整備をしたりすると

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					ともに、用具の安全に気を配っている。
走り高跳び	4	・リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳び、自分の記録に挑戦したり、走り高跳びの競争をしたりする。	・走り高跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・上体を起こして力強く踏み切ることができる。 ・はさみ跳びで、足から着地することができる。	・走り高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり、整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。
水泳運動	11	・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。	・息継ぎとターンをして、クロールで長い距離を泳ぐことができる。 ・息継ぎとターンをして、平泳ぎで長い距離を泳ぐことができる。 ・息継ぎとターンをして、背泳ぎで長い距離を泳ぐことができる。	・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に	・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。ウ

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 - ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 - 友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。	いる。・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。
E ポール運動 ネット型（ソフトバレーボール）	6	攻めの組み立て方を工夫して、ソフトバレーボールをする。	- ソフトバレーボールの行い方がわかる。 - 自陣のコート（中央付近）から相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。 - ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。 - 味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。 - 片手、両手を使って、相手コートにボールを打ち返すことができる。	- 誰もが楽しくソフトバレーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 - チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 - 課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT 機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	- ソフトバレーボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 - ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 - ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 - ゲームの勝敗を受け入れている。 - ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 - ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けた場場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
ゴール型（サッカー）	6	・パスやシュートをしながら攻	・サッカーの行い方がわか	・誰もが楽しくサッカーに参	・サッカーの簡易化されたゲ

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		め方を工夫して、サッカーをする。	・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	・加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT 機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・ゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けた場場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
E ボール運動 ゴール型（バスケットボール）	6	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に	・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認	・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			守備者が入らないように移動することができる。 - 得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。 - ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	している。 課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT 機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	- ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 - ゲームの勝敗を受け入れている。 - ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 - ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けた場場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
F 表現運動 表現運動・踊る！思い出の○○	5	生活や自然、社会のいろいろな題材の中から、印象的なできごとを見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。	- 表現「踊る！ 思い出の○○」の行い方がわかる。 - 表現「踊る！ 思い出の○○」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 - 題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねてい	- 表現「踊る！ 思い出の○○」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 - 表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 - 表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急	- 表現「踊る！ 思い出の○○」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 - 表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 - 表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			くことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走る一急に止まる、ねじる一回る、跳ぶ一転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。	変する場面や取り入れる群の動きを選んでいる。・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。	・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。
F 表現運動 ・フォークダンス ・世界のフォークダンス	5	・「マイム・マイム」「コロブチカ」「グスタフスコール」など、世界の踊りの特徴を捉えて踊る。	・フォークダンスの行い方がわかる。 ・外国の踊り特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・マイム・マイム（イスラエル）などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは、みんなで手をつなぎ、かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。 ・コロブチカ（ロシア）などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは、パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり、パートナーチェンジをスムーズに行ったり	・外国のフォークダンスのポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。	・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・フォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合うこと。 ・フォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合うこと。 ・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たすこと。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配ること。

評価基準

教科	体 育	学 年	6 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			しながら踊ることができる。 ・グスタフス・スコール（スウェーデン）などの特徴的な隊形と構成の踊りでは、前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチくぐりなどの変化を付けて、パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。		